

論考 建築設計

論文募集要項

1. 目的

日本建築設計学会の目的にてらし、建築設計に関わる様々な論考を発表する場であるとともに、本学会の学術的な発信の場とする。

2. 論考の種類

①査読付き学术论文と②研究報告(査読なし)の2本立てとし、正会員の幅広い論考を集める。

3. ①査読付き学术论文について

3-1. 審査方法:ピアレビュー方式。編集委員会(編集委員)が指名する3名(編集委員会の判断により、適任者がいれば正会員以外も査読者となる)の査読者による1回査読。過半数以上の査読者の採否により決定。採用の場合も修正要望を付すことができる。

3-2. 執筆形式等:レイアウト済の版下原稿で、4~6ページ程度の分量。レイアウト見本は別途ファイルを参照のこと。

3-3. スケジュール:年1回(総会時5月)発行とする。

第1号 1月末締切, 2月査読者依頼, 2月~3月査読期間, 3月末採否決定, 5月発行を目指す。

3-4. 編集委員会の役割:論文1編につき、編集委員会のメンバー1人が担当編集委員となり、査読者選定・依頼・採否結果回収、査読者・執筆者への連絡・調整を行う。編集委員会が採否結果等を集約、印刷・出版(オフセット印刷)への調整を行う。

3-5. 投稿料(1編 2万円)

4. ②研究報告(査読なし)について

4-1. 査読は行わない。担当編集委員1名によるレイアウト微調整程度。

4-2. 執筆形式:3-2に同じ

4-3. スケジュール:3-3に同じ

4-4. 注:査読付き学术论文が不可の場合も、著者の希望により、次号に研究報告として掲載可とする。

4-5. 投稿料(1編 2万円)

5. 査読方針

■以下に該当する場合は不採用とする。

- ・新しい知見がない。
- ・関連研究の引用、展望が不十分である。
- ・得られた新知見が少ない。
- ・論旨に飛躍・矛盾など重大な問題がある。
- ・重要な説明が欠如もしくは証明が不十分である。
- ・実験、調査の方法の結果の信頼性・再現性に重大な疑問がある。
- ・設定した問題に対して、対象を正しく把握していない。
- ・文章として完成していない。
- ・他に既に発表されている。